

# PowerPo でクイズ…採点機能をつけられるか？

滝川工業高校 加藤陽喜

※時々のおもい、付随した自問自答形式のレポートになっています。

## 1 あれは今から4年前…

(1) ICT 時代がきつとくる。数学でスマホを使うには…ビジュアルに訴える PowerPoint だ!

**発問** ただの解説視聴では面白くない

タッチして、選択肢を選んだり 発問に答えたりしながら進められる教材を作れないか？

## 2 クイズ教材作成への道

(1) スライドショー中に、クリックすると「他のスライドに飛ぶリンク機能」を使おう!

(2) 問題文のスライドに、正解と不正解の選択肢をつけ、クリックすると別々のスライドに飛ぶ。

⇒ 正解スライドでは、効果音「ピンポーン」。不正解スライドでは、効果音「ブー」の後、解説。

(3) 画面(スライド)の切り替えで、□クリック のチェックを外す。

⇒ スマホの画面(選択肢以外)にタッチしても、次のスライドには進まない。

**発問** ただのクイズでは、やっておしまい高揚感がない。

ゲームのように最後に点数が表示され、達成率をフィードバックできる方法はないか。

※今や google forms のテスト機能や「QuizLet」のようなアプリで、自動採点付き択一問題は簡単に作れます。が、当時はその事実を知らず、PowerPoint にこだわっていました。点数が出なくても勉強になればそれで良いのですが…やっぱり高得点とると、嬉しいじゃないですか(自己満)

## 3 採点機能への道 ～挫折の道

(1) マクロ(VBA)は使えない。スマホ版には、その機能自体がない。

(2) 1問1問クイズを解き進めていくだけでは、どちらの選択肢を選んだか記録に残せない。

⇒ サイトを調べても出てこない(アプリで代替できるから当たり前か)。万事休すか…

**発問** 例えば1問目で、正解の選択肢を選んだら10点を保持したと仮定する2問目へとぶ。

不正解の選択肢を選んだら0点保持したと仮定する2問目へとぶ。

とぶスライドを別々にしたらどうか？

## 4 採点機能への道 ～いばらの道

(1) 1問目で3スライド、2問目で3スライド×2…。全部で  $3 \times (1+2+\dots+10) = 165$  スライド(大量)

⇒ 実際には、30スライドしか流れない。他はダミー。稼働率18%(笑)

(2) パスカルの三角形!

⇒ …とは特に関係ありません。形だけ(笑)でもアイデアの原形。まさかこれが思考力?

(3) プログラムの流れ図、アルゴリズムを用いた発想!

⇒ と言っても、ただの単純な分岐ってか、枝分かれ(笑)

## 5 まとめ

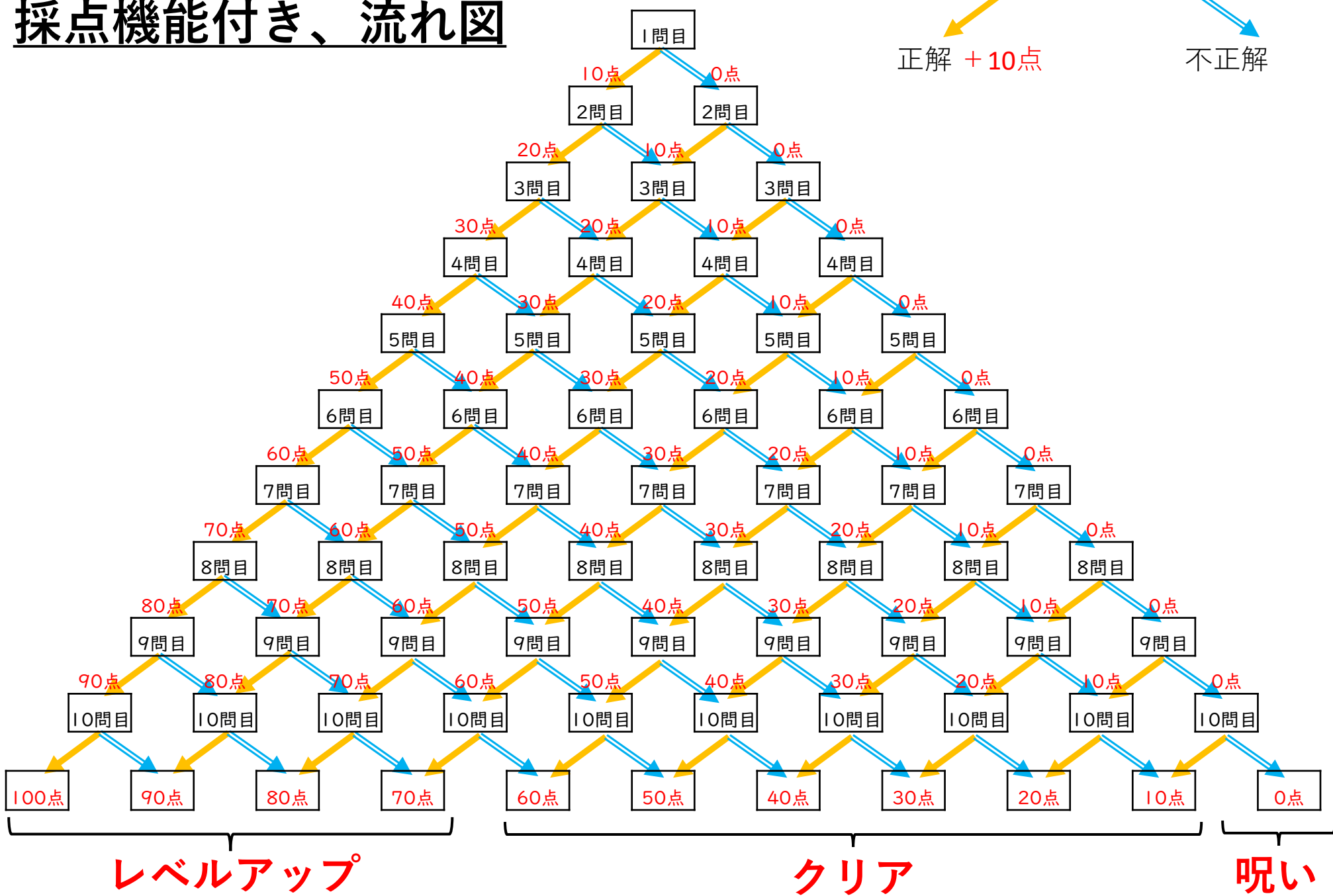
試行錯誤しながら作っていく過程が、本当に面白い。

「できたよ!」と生徒に見せたときの歓声が、次のアイデアの原動力になる。

# 採点機能付き、流れ図

正解 +10点

不正解



レベルアップ

クリア

呪い